Governor's Monthly Letter

Rotary

2017.5 第11号

3/15~17　韓国第3750地区地区大会にて

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063　埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116エイペックスタワー東館1階
TEL：048-827-0022　FAX：048-827-0011　E-mail：ri2770@ri2770.com

青少年奉仕月間に因んで

国際ロータリー第 2770 地区
ガバナー　浅水　尚伸（越谷南 RC）

どのクラブにおいても、新年度に向けた準備に追われている時期であろうと思います。この時期に、皆様にお願いしたいのは、年度を超えた情報の共有に是非とも心がけて頂きたいということです。良いところを承継し、改善点を見つけていくことが次年度に向けた一番重要なことだと思います。承継と改革がなければ、組織の発展は望めないと思います。会長・委員長の皆様には、あまり肩に力を入れず、柔軟な心で、いろいろな人の話に耳を傾けて頂きたいと思います。

さて、今月は、青少年奉仕月間です。当地区は、青少年奉仕に長く力を入れてまいりました。その成果である青少年交換学友・インターアクト・ローターアクト学友は、ロータリーで学び感じたことを胸に様々な分野で活躍されています。彼ら学友をロータリーは、これからも大事にし、ロータリーの最も良き理解者として、連携していくことが必要だと考えています。皆様は、どうすれば、この連携が続けていけるとお考えですか。是非とも、様々なアイデアを実行に移してください。青少年奉仕部門は、正に人を育てる分野ですが、人を育てることは、すなわち、自分を育てることでもあると思います。若い皆さんと行動を共にしているとき彼らから学ぶことが多くあることに気づきます。忘れていた感覚を呼び起こされることもしばしばです。私たちは、長い社会経験の中で、肩書や役職や職業で、人を評価し、自らも、その鎧の中に身を置くことが多くなっています。しかし、私は、そのようなものを離れ、国籍や言語や宗教を超えて、一人の人間として、様々な人々に関わることの大切さを彼らからいつも教えてもらっています。

当地区では、インターアクト・ローターアクトクラブの活発化、ロータリークラブからの支援体制の強化を重要な課題としています。インターアクターがローターアクターになっていくような人材の流れができていくこと、その前提として両者の交流の機会が増えることが必要だと考えています。大学単位で作られているローターアクトクラブについては、学外の学生も自由に参加できる環境を整えることも必要だと思います。地域に開かれたローターアクトクラブが目指すべき姿だと思います。また、現在の青少年交換事業の規模、すなわち、20名前後の学生の受入・送出を維持していくためには、クラブが単独で学生を預かることが難しいという現実があります。グループ単位で、あるいは、複数のクラブが共同で行っているという例も増えてきました。人数格差が広がっている現在の各クラブの状況からすれば、これは、避けられないことです。しかし、それ以上に、小さいクラブにとって、青少年交換事業に取り組むことは、クラブ活性化につながる素晴らしい機会だと思います。是非とも、クラブで考えて、積極的に取り組んでみてください。

大貫年度　会長エレクト研修セミナー報告

次年度地区幹事
本田　守（上尾西 RC）

今年の会長エレクト研修セミナー（ＰＥＴＳ）は桃の節句を過ぎても寒さの残る3月9日(木)と10日(金)の2日間「ラフレさいたま」にて開催されました。

初日午前中の第１全体会議では、浅水ガバナーの挨拶に続き次年度研修リーダーの三國パストガバナーによる「会長のリーダーシップについて」の講演が行われ、続いて大貫ガバナーエレクトによる「次年度ＲＩテーマ及び地区方針」について説明が行われました。また今回は、次年度危機管理委員長の井原パストガバナーより「ロータリーに関わる危機管理」についてもお話しを頂きました。午後には地区委員会による９つの部門別セッションの中から５つのセッションを会長エレクト、次年度ガバナー補佐の皆様に受講して頂きました。

２日目は午後12：30より前日の続きの部門別セッションを4つ受講して頂き、終了後に第2全体会議が開催され参加の感想及び次年度の増強目標を発表して頂き、そして最後に懇親会も開催されました。

２日間の会長エレクト研修セミナーはかなり過酷なスケジュールであり、参加された会長エレクトとガバナー補佐の皆様には大変お疲れであったかと思いますが、次年度の会長に就任するためには受講必須のセミナーであり、殆どの会長エレクトの皆様は無事卒業されました。都合により２日間のセミナーを受講できなかった会長エレクトの方には、機会を改めて大貫ガバナーエレクトより直接セミナーの補講を受けて頂く予定です。

セミナー終了後に大貫ガバナーエレクトの地区方針が具体的で解りやすかったとの好評を得て、会長エレクトとガバナー補佐より「地区方針」のパワーポイント・データの配布希望が多数ありましたので、OneDriveよりパワーポイント・データ及び当日のビデオ・データをダウンロード可能に致しました。ご希望の方は地区事務所までお問い合わせくだされればメールにてダウンロード手順をお知らせ致します。

IM 報告

第８グループガバナー補佐
小林　操（越谷北 RC）

1 月 23 日（月）に越谷コミュニティーセンターで、ロータリー財団 100 周年「世界でよいことをしよう」をテーマとして、2016 - 2017 年度国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループのインターシティミーティングを開催しました。

新年の 1 月という地区では 2 番目の早い時期に開き、賀詞交歓会を兼ねる開催となりました。ロータリー財団 100 周年という節目の年度であり、ジョン F. ジャーム会長の「人類に奉仕するロータリー」から、一からポリオ撲滅の活動を復習し意義を考えるミーティングであったと思っています。

第 1 部式典ではガバナー補佐小林操の挨拶があり、続けて浅水尚伸ガバナー、井原實地区ロータリー財団委員長の挨拶がありました。グループ内 5 ロータリークラブの活動報告があり、また IM として、ロータリー財団ポリオ・プラス基金に現金の寄贈がありました。

その後、基調講演として、東大教授渋谷健司先生による「ポリオ撲滅とロータリーの貢献」という演題のもと、世界におけるポリオの現状について、また撲滅の意義について、パワーポイントの画像で説明解説を頂きました。

ロータリーにとってポリオ撲滅活動は奉仕の理想の代表的活動であり、人道的プログラムのサンプルとでも言える活動であることは周知のことであります。ただ念仏のようにポリオ撲滅を連呼するだけでは最後の撲滅達成には至らないのではないか危惧しているところです。2018 年撲滅を目指して活動していますが、ロータリー全体として冷めて来ているように感じられるのは私だけではないでしょう。最後の力は多くのロータリアン、そして多くの市民が意識を持ち撲滅に立ち向かうことだと思います。

第 2 部の賀詞交歓会では、冒頭、「浦安の舞」が奉奏され、ロータリーそして世界の安寧を祈念しました。越谷市長の祝辞、越谷ライオンズクラブ等の挨拶を頂き、越谷 5 ロータリークラブ会長による鏡開きで開宴となり、新年を賑々しく祝いました。

最後に IM 開催に際し、ご支援ご協力頂いた多くのロータリアンに感謝を申し上げます。

第 10 グループ IM 報告書

第 10 グループガバナー補佐
長谷川　吉昭（吉川 RC）

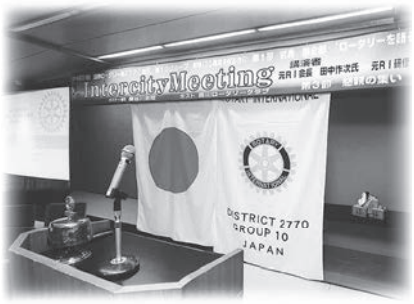
第 10 グループの IM が 2 月 4 日（土)、吉川市　老舗料亭　福寿家様にて開催されました。

浅水ガバナー、始め大勢の地区役員、三郷、吉川、松伏の 3 首長の臨席の下、一部式典に引き続き、二部記念講演会では、元 RI 会長田中作次氏、元 RI 研修リーダー中村靖治氏による「ロータリーを語る」、田中氏から 4 ページの資料を事前に用意いただき大勢のロータリーアンの手本となるべく指針が示されました。又、三部では、いよいよアトラクション、懇親会に入りゲストには、春日部西 RC の大東さん参加で「春日部ドリーム・スィング・キングダム」の 17 名の演奏にＹｓダンスアカデミーのコラボでラテンダンスが披露されました。又、サプライズでは当日の司会進行をお願いしました、広報部門委員長　梶間順子女史のラテンダンスも披露され会場を大いに盛りあげていただきました。

当日は、ホストクラブ吉川ＲＣ、三郷ＲＣ、三郷中央ＲＣ、三郷WDＲＣ、松伏ＲＣの会員の皆様のご協力で無事大役を果たせることが出来ました事、心より御礼申し上げます。長期に渡りまして私を補佐していただきました村井有一郎氏にお礼申し上げます。

又、今回のＩＭを末永く思い留めていただけますよう「記念写真集」を発行させていただきました。

以上ＩＭのご報告と致します。



第４グループ　インターシティミーティング

第４グループガバナー補佐
清水　伸洋（大宮東 RC）

２月１６日（木)、暦の上では春となりますが、まだまだ厳しい寒さが続く中、パレスホテル大宮で、第４グループインターシティミーティングが開催されました。さいたま市長清水勇人様、（公社）埼玉中央青年会議所理事長 黒須喜美雄様、国際ロータリー第２７７０地区ガバナー 浅水尚伸様をはじめとする多くのロータリアンの皆さまにご臨席を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

千代邦夫ＩM実行委員長より、インターシティミーティングとは都市連合会 いわゆる「近隣のクラブが集まって共通のテーマで語り合い、ロータリー情報及び教育の手段として研究･討議する会合」です、とありました。

今年度のＩMのテーマ「祝ロータリー財団１００周年」１９１７年にアメリカ・アトランタで開催された大会で国際ロータリー会長アーチＣ・クランフが「世界でよいことをする」ための資金をつくる為に、26 ドル 50 セントの寄付でスタートした財団は、世界有数の財団に成長し、何百万人のために人道的プロジェクト、奨学金の提供、職業研修や文化交流、ポリオ撲滅の取り組みなど、１世紀にわたり「世界でよいこと」を続けてきた財団の活動があってこそ、ロータリアンは長年にわたって人道主義を揚げ、助けを求めている人々に奉仕をしてきました。

ロータリーの奉仕は、与えて求めない「超我の奉仕」私たちロータリアンは与えて求めない心で奉仕をすれば共存共栄、世界平和が必ず来ると思います。

２部の記念講演は武藤敏郎先生による「2020 年東京オリンピック・パラリンピックと日本の将来」についてご講演を頂きました。

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 専務理事 / 事務総長 武藤敏郎先生のご講演で、世界中の心が動くオリンピックは開会式が成功すれば７０％が成功である、とありました。１９６４年に東京オリンピックが開催された時が、第一回のパラリンピックとされています。同じ都市で行われるのは日本が初めてです。パラリンピックの会場に多くの方に来て頂き、障がい者の競技を見て頂ければ障がい者に対する考え方見方が、大きく変わり感動していただけると思います。

次代へ残す「無形のレガシー」2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会では「アクション＆レガシープラン」策定を進めています。スポーツ・健康、街づくり・持続可能性、文化・教育、経済・テクノロジー、復興・オールジャパン・世界への発信という分野の様々な活動で、次代を担う若者や子どもたちにレガシーを残そうとしています。中でも期待されているのは、文化や教育の分野で人々の心に残る「無形のレガシー」です。

３部は懇親会です。津軽三味線　北村姉妹の息のあった演奏を聴きながら、親睦を深め楽しい時間を過ごして頂きました。

結びに、ＩＭ開催に当たりご尽力頂きました会長・幹事・ＩＭ実行委員の皆様に感謝とお礼を申し上げ、報告とさせていただきます。

第３グループ IM 報告

第３グループガバナー補佐
中川　高志（大宮 RC）

第３グループ IM は浅水尚伸ガバナー、清水勇人さいたま市市長をはじめ多くの御来賓方々をお迎えして、2 月 23 日パレスホテル大宮にて開催されました。

第３グループはさいたま市大宮地区の東側を中心とした 6 クラブからなるグループです。日ごろから会員同士の交流が盛んで、改めてインターシティミーティングを開催しなくてもよいほど仲の良いグループです。そして、第３グループの IM の特徴はロータリーの奉仕活動に日ごろからご理解を頂いている近隣の一般の方もお招きし交流を図っていることです。公共イメージの向上にも貢献しています。今年度は 60 名を超える参加を頂きました。

第 1 部講演会には日本医科大学特任教授で心療内科医の海原純子先生を講師にお迎えしてご講演をお願いしました。海原先生は私と同窓で心療内科医として幅広い活動をしています。3.11 東日本大震災の時には速やかに被災者の皆さんの心のケアに駆けつけました。復興庁の心の健康サポート事業統括責任者も歴任し、2016 年日本ストレス学会賞を受賞されました。講演テーマは素敵に年を重ねるために～ストレスからレジェリエンスへ～でストレスに対する日ごろの対処法をわかりやすくお話しいただきました。とてもためになる講演でした。

第 2 部では懇親会に先立ち各クラブの会長より今年度の活動報告をしていただきました。情熱をこめて語る会長の奉仕活動の報告は改めてロータリーの素晴らしさをよみがえらせてくれました。

会場はすでに盛り上がっていましたが、森田パストガバナーの乾杯で懇親会は始まり親睦の輪はさらに大きく開いていきました。次年度ガバナー補佐、会長エレクト、幹事候補者の紹介で第３グループ IM は大盛況のうち閉会となりました。

岩崎彰 IM 実行委員長はじめ IM 実行委員会の皆様ホストクラブ大宮 RC の皆様にはこのように盛大な IM を企画実行して頂いたことに深く感謝いたします。

第６グループ　インターシティ・ミーティング報告

第６グループガバナー補佐
寺門　孝彦（春日部 RC）

３月２５日土曜日、３月末をもって閉館する春日部市商工振興センターの華を飾るべく、第６グループ　インターシティ・ミーティング (ＩＭ) が開催されました。

そもそもＩＭとは、近隣都市の複数のロータリークラブが合同で行う自由討論会であり、テーマは５大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを討論するものです。

本年度は、このＩＭの基本に立ち返り、５大奉仕部門の中でも「青少年奉仕」に焦点を絞り、第１部「式典」の中で「青少年の未来」をテーマにシンポジウムを実施しました。このシンポジウムには、グループ内各クラブ会長、青少年交換学生デニス君、学友の中田瑞季さん、学友の高橋瑠果さん、春日部女子高インターアクト新井ひよりさんに加え、浅水尚伸ガバナーにも青少年交換学生の父親として討論に参加してもらいました。

討論では、各クラブ会長とも、米山奨学生を含め、この地域で健全な青少年を育成することがロータリーの使命であり、地域の活性化につながること、また、学生たちからはロータリーのプログラムに参加して、国境とか言語を意識しなくなったこと、コミュニケーション力が知らず知らずのうちに高まったことなど、本人たちも驚きをもって語りました。また、浅水ガバナーからは、当地区は伝統的に「青少年奉仕」に力を入れていること、それを地域でクラブで活かしている実態に触れ大変うれしい旨の総評をいただきました。

また、シンポジウムに先立ち、春日部市、杉戸町、宮代町の各首長に対して「ふるさと納税」基金の目録を贈呈し

たほか、１００周年を記念してロータリー財団へのポリオ基金の贈呈をしました。

第２部「記念事業」は、東日本大震災復興支援のコンサートを被災地で実施され、被災者をその歌声で元気づけてこられたシャンソン歌手の大塚茉莉子さんの歌と語りにより、被災地へのチャリティーを行い、皆さんから８万８千円のご投入をいただき、これを義援金として国際ロータリー第２５２０地区に委ねました。また、このコンサートには、春日部市のシャンソン愛好家の皆さんも一緒に鑑賞しました。日本の春の歌を盛り込みながら、薔薇色の人生や愛の賛歌など有名なシャンソンの絶唱に会場は聞きほれていました。アンコールはロータリアンにも馴染みのある学生時代で締めました。

第３部「懇親会」はＩＭのもう一つの目的である、ロータリアン相互の親睦と理解を深めるため、第６グループにちなみ「大ロックな懇親会」を開催しました。【ロータリーは大ロックだぜ！】と銘打ち、春日部南ＲＣ清水会長のロック、春日部西ＲＣ大東会長エレクトのジャズ、歌と演奏で浅水ガバナーまで踊りだす始末で、大盛り上がりでした。不肖私寺門もニューオーリンズ国際大会で披露したデキシーランドジャズ「私の青空」を歌わせていただきました。とにかく、シャンソンあり、ジャズあり、ロックありで、最後は「手に手つないで」を満場のロータリアンと共に合唱し、熱狂的なうちに閉会となりました。

ベテランロータリアンの多い、ホストを務めた春日部ＲＣの皆さんに心から御礼申し上げ、ＩＭ報告といたします。

ガバナー・ノミニー（デジグネート）指名

2019-20年度ガバナー指名委員会の決定を受けて、ガバナー・デジグネートに小林 操会員を決定したことをお知らせします。（2016-17年度ガバナー　浅水　尚伸）

プロフィール

小林　操（こばやし　みさお）
越谷北RC

生年月日　1948年（昭和23年）11月5日
事 業 所　小林操税理士事務所
職業分類　税理士

【経歴】

1955年4月　東京都世田谷区立桜小学校入学
1956年4月　東京都立公明養護学校転校
1967年3月　東京都立駒場高等学校卒業
1972年3月　國學院大學法学部法律学科卒業
1974年3月　国士舘大学大学院経済学研究科修士課程修了・修士
1976年3月　駒沢大学大学院商学研究科修士課程修了・修士
1977年11月 税理士登録（登録番号39762）、小林操税理士事務所開業
1994年4月　関東信越税理士会越谷支部青年部長

【ロータリー歴】

1988年（昭和63年）5月25日　越谷北RC入会
1994～1995　クラブ幹事
1997～1998　地区国際交流委員
2003～2004　クラブ会長
2004～2006　地区財団増進・ポリオ委員
2006～2007　地区財団増進・ポリオ委員長
2007～2011　地区財団増進・ポリオ委員、新地区補助金運営委員
2011～2012　地区新地区補助金運営委員長
2012～2014　地区新地区補助金委員、補助金委員
2014～2015　地区ロータリー財団部門委員長、補助金委員長
2015～2016　地区補助金委員長
2016～2017　第8グループガバナー補佐、ロータリー財団監査委員

FM Kawaguchi 85.6MHz

お知らせ!!

４月２９、３０日の両日

１６：３０～１７：００（３０分間）

お聴き逃しなく!!

大変ご好評のまま放送終了となりました

ロータリー財団

大口寄付 $13,143.05

野島照雄
(浦和南)
平成29年4月4日

M・P・H・F(4)

佐々木 修
(大宮シティ)
平成29年4月4日

M・P・H・F(1)

君塚　潔
(春日部西)
平成29年3月22日

P・H・F

小林三石
(浦和ダイヤモンド)
平成29年3月10日

P・H・F

戸辺　誠
(大宮シティ)
平成29年4月4日

米山奨学会

米山功労者マルチプル(6)

久保和夫
(浦和ダイヤモンド)
平成29年3月10日

米山功労者

小林三石
(浦和ダイヤモンド)
平成29年3月10日

新会員

臼井繁樹
(八潮イブニング)
平成29年2月1日
㈲臼鐵商店
食品加工業

菅山　浩
(越谷北)
平成29年2月8日
㈲三笠商事
日本料理

伊藤　純
(越谷北)
平成29年2月8日
㈱トハン
塗料卸売業

森川周平
(越谷)
平成29年2月28日
㈱JTB関東 法人営業埼玉南支店
観光事業

小林佑次
(岩槻)
平成29年3月2日
三倭観光㈱
観光バス業

角田貴則
(さいたま欅)
平成29年3月7日
三幸建材工業㈱
鉄鋼建具製作業

内藤一夫
(草加松原)
平成29年3月7日
シュウアイファーム
農業

増井大輔
(大宮南)
平成29年3月21日
㈱高島屋大宮店
小売業

石井洙光
(鴻巣水曜)
平成29年4月1日
㈱クリーンウェル
給排水衛生工事業

大柿一気
(春日部)
平成29年4月4日
埼玉りそな銀行 春日部支店 支店長
普通銀行

池田博行
(春日部)
平成29年4月4日
㈱みなみさくらいコンサルティング
公認会計士

間瀬秀樹
(大宮南)
平成29年4月11日
サッポロビール㈱埼玉統括支社
酒類製造販売

訃報◆謹んでお悔やみ申し上げます。

八木橋幾太郎 様
(戸田)
平成29年4月7日
享年 94 歳

文　庫　通　信（355号）

http://www.rotary-bunko.gr.jp

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

講 演 他

◎「日本の出番、祖国は甦る」　青山繁晴　2016　1p（D.2680 地区大会記録誌）
◎「世界の中の日本」　五百旗頭 真　2016　9p（第 44 回ロータリー研究会報告書）
◎「日本のこころ」　松長有慶　2015　7p　（D.2660 地区大会記録書）
◎「職業奉仕の今日的課題と永続企業」　パネラー：前川洋一郎・山本恭人　・中川雅雄　2016　6p
（D.2580 地区大会記念誌）
◎「２１世紀をどう生きるか」　安平和彦 〔2016〕15p
（D.2670・D.2680 第 38 回 RYLA 報告書）
◎「現代家族の課題」　白石大介 〔2016〕 12p
（D.2670・D.2680 第 38 回 RYLA 報告書）
◎「ダウン症の娘と共に生きて」　金澤泰子　2017　6p
（D.2690 地区大会記念誌）
◎「夢に向かって」　根木慎志　2016　7p
（D.2750 第 36 回インターアクト年次大会報告書）
◎「若者の未来のためにできること」　養老孟司　2015　11p
（D.2660 地区大会記録書）
◎「父が見つけてくれたもの」　小林 真　2011　6P
（奉仕のともしびを高く掲げて）

ロータリー文庫
〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル３階
TEL（03）3433-6456
FAX（03）3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前 10 時～午後５時
休館＝土・日・祝祭日

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

青山学院緑岡初等学校正門と校舎

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。

記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

米山梅吉関連図書の紹介

Ｂ５判　記念館35周年記念誌
本文268ページ／2,500円

米山梅吉の跫音　記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。
資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

公益財団法人 **米山梅吉記念館**
〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL http://yoneyama-umekichi.jp
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp
［開館時間］午前10時～午後4時
［ 休 館 日 ］月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日（5月･8月の特定日）

Rotary Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2017年5月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーデネーター
今月号の担当　Zone 3 RPIC

■ 会員基盤向上に資する「ロータリー公共イメージ向上」について

さる3月27,28の両日東京で開催されたRI第1,2,3ゾーン会員基盤向上セミナーでは標記演題について各地の公共イメージコーディネーター関係者 数名がそれぞれの切り口から持論を大変熱く語られ、とても印象的で貴重な時間を過ごすことが出来た。RIはロータリー発展のため戦略計画を大々的に取り入れるよう推奨し、その束ねた3本の矢の内の一つである公共イメージ向上も特別に力を入れている 。戦略計画の最終ゴールは何よりもクラブの発展、そして会員増強であり、その為のイメージ向上は必須であり、それを活かさねばならないと説いている。
112年前シカゴの街で4人の青年実業家が集まりロータリークラブを創立し、それが現在会員数120万人を超える世界的巨大組織に成長した。その要因はロータリーが常に内外への広報宣伝活動を効果的に継続して来たこと、そしてどの時代にでもロータリー会員自ら日頃の理念に沿った職業奉仕を行い 、世界中の各クラブが長年実施して来た質の高い奉仕活動を地域が世界が認知して来たからではないか。ここで先日のセミナーでの発表を参考にしながら今後の広報展開を如何になすべきかを考えてみたい。

・地区レベルで、

地区はクラブにロータリーのイメージ向上に繋がる情報を提供すべきである。例えばクラブ奉仕活動への取材活動を地区が代わってマスコミに申し入れる、クラブセントラルから情報収集を奨励する、地区へのBox投稿依頼を強く勧めている。特にIT、中でも各種SNSを駆使した映像による積極的発表、投稿は若い世代に強くアピールするだろう。一例として、第2670地区前田直俊ガバナー監修によるアニメ「おしえてロータリー」は日本語、英語版があり、FB, YouTube、DVD等を通して誰でも鑑賞可能。これらは広く地域社会でロータリーの啓発活動や 、ロータリークラブ新入会員の研修にも役立つすぐれた教材である。（第1図参照）

・クラブレベルで、

会員が汗を流し、地域のために良い事をした事実をマスコミが取材し、のちにマスメディアに載ることはとても立派な業績であり、ロータリーを社会に理解して貰える千載一遇の良い機会です。ここに第2690地区玉島RCと米子4RCの奉仕活動が新聞記事になった例を紹介する。なお、この記事は現在RIのBoxに収めてあります。各クラブでとても簡単に操作できるBoxを利用し、活用して下さい。（第2図・第3図参照）

・ロータリアン個人レベルで、

忘れてならいのは、会員各自が果たして来た長年の「くちコミ作戦と真摯な奉仕活動」こそロータリー発展の最大貢献者であり、今後戦略計画実施への大きなヒントになると確信する。色々な意味で直接対面での意思疎通は何事にも変えがたいお金のかからない広報宣伝戦略であろう。　（第3ゾーンARPIC 伊藤文利　倉吉RC）

■ クラブ数　会員数

Zone 1	829	28,680
Zone 2	652	28,158
Zone 3	790	32,745
合 計	2271	89,583

2017年4月10日現在 のClub Centralのデーターです。
第2ゾーンの数値にはGUAM,MICRONESIA,NORTHERN MARIANS,PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数

187件（1.2.3ゾーン合計）
2017年4月10日現在

おしえてロータリー

第1図

Kurashiki・Soja

倉敷・総社圏版

災害発生 どう対応

玉島など中学生30人 炊き出し、搬送訓練

倉敷市玉島地区の中学生が学ぶ「災害ボランティアリーダー研修会」が2日、同市玉島八島の玉島消防署で開かれた。玉島東、西、北、船穂中の4中学校から30人が参加。災害に備え、炊き出しや搬送訓練などを行った。

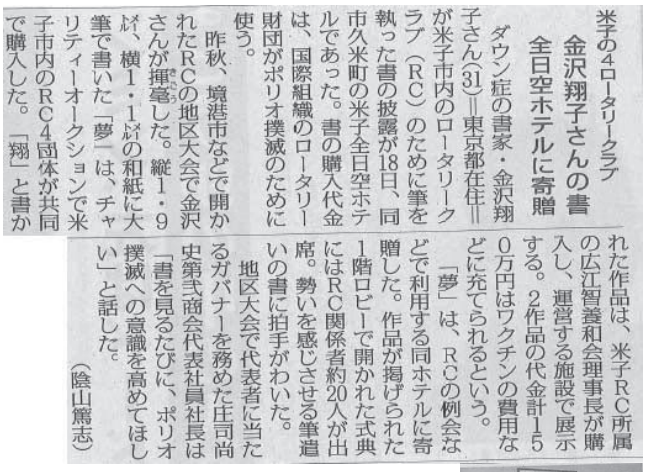
炊き出し訓練では豚汁に挑戦した。木ぎれを使って大鍋に湯を沸かす班、タマネギや肉など食材の下ごしらえ班に分かれて作業。出来上がった豚汁を味わった。

消防署員からAED（自動体外式除細動器）の使い方や人工呼吸といった救命講習を受け、毛布を使って担架を作り搬送する訓練もした。玉島北中3年植田温人さん(15)は「研修したことは、いざというときに役立てていく。ボランティアもいろいろとやってみたい」と話していた。

研修会は、玉島ロータリークラブ（今城友三郎会長）が社会奉仕活動の一環として昨年から開いている。（山崎隆夫）

災害に備え、炊き出しの訓練をする生徒ら

第2図



米子の4ロータリークラブ

金沢翔子さんの書

全日空ホテルに寄贈

ダウン症の書家・金沢翔子さん(31)＝東京都在住＝が米子市内のロータリークラブ（RC）のために筆を執った書の披露が18日、同市久米町の米子全日空ホテルであった。書の購入代金は、国際組織のロータリー財団がポリオ撲滅のために使う。

昨秋、境港市などで開かれたRCの地区大会で金沢さんが揮毫した。縦1・9㍍、横1・1㍍の和紙に大筆で書いた「夢」は、チャリティーオークションで米子市内のRC4団体が共同で購入した。「翔」と書かれた作品は、米子RC所属の広江智養和会理事長が購入し、運営する施設で展示する。2作品の代金計150万円はワクチンの費用などに充てられるという。

「夢」は、RCの例会などで利用する同ホテルに寄贈した。作品が掲げられた1階ロビーで開かれた式典にはRC関係者約20人が出席。勢いを感じさせる筆遣いの書に拍手がわいた。

地区大会で代表者に当たるガバナーを務めた庄司尚史第弐商会代表社員社長は「書を見るたびに、ポリオ撲滅への意識を高めてほしい」と話した。（陰山篤志）

第3図

この書は第2690地区米子市内4RCが市民に末永く鑑賞してもらうために共同購入したものである。

2016～2017年度　3月　会員数及び出席率報告

グループ	クラブ名	2016年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	増減	目標純増	通算入会	当月 出席率	当月 順位	通算出席率順位
第一グループ	浦和	121	2	120	2	-1	3	1	77.51	51	34
	浦和東	90	8	92	9	2	3	5	93.52	7	4
	浦和南	28	2	29	3	1	3	2	93.11	8	8
	浦和中	42	2	45	3	3	5	3	82.99	31	22
	浦和ダイヤモンド	19	5	20	5	1	5	1	97.78	3	3
	第1グループ計	300	19	306	22	6	19	12	88.98		
第二グループ	浦和北	81	8	83	6	2	5	7	90.41	16	18
	さいたま中央	44	3	45	2	1	2	3	79.35	48	51
	さいたまシティ	20	3	20	2	0	3	1	82.50	33	54
	浦和北東	44	5	43	4	-1	5	2	81.70	36	58
	さいたま新都心	38	0	40	0	2	5	2	83.96	28	37
	第2グループ計	227	19	231	14	4	20	15	83.58		
第三グループ	大宮	66	1	68	2	2	5	4	84.66	27	44
	大宮南	37	7	41	8	4	5	5	80.49	44	40
	大宮中央	47	2	54	2	7	7	8	81.25	40	38
	大宮シティ	74	5	75	7	1	5	4	69.35	68	65
	さいたま欅	21	2	26	2	5	3	5	80.33	45	25
	さいたま大空	14	5	17	7	3	2	3	73.80	59	72
	第3グループ計	259	22	281	28	22	27	29	79.22		
第四グループ	大宮西	110	7	108	7	-2	10	7	83.05	30	43
	岩槻	21	1	25	2	4	3	6	71.00	63	69
	大宮北	21	1	22	1	1	3	1	80.56	43	60
	大宮東	45	0	45	0	0	3	2	91.69	9	13
	岩槻東	28	4	30	3	2	5	2	90.87	12	5
	大宮北東	17	2	15	2	-2	4	0	70.00	66	68
	第4グループ計	242	15	245	15	3	28	18	81.20		
第五グループ	上尾	36	1	38	1	2	4	2	83.16	29	11
	鴻巣	21	2	22	3	1	10	3	89.77	18	12
	桶川	19	0	21	0	2	3	2	97.37	4	2
	上尾西	45	0	46	0	1	5	2	86.39	25	10
	北本	7	0	7	0	0	2	0	77.33	52	23
	上尾北	26	0	26	0	0	2	1	87.17	23	20
	鴻巣水曜	31	2	32	2	1	3	1	87.10	24	24
	桶川イブニング	17	1	20	1	3	2	3	78.75	49	41
	第5グループ計	202	6	212	7	10	31	14	85.88		
第六グループ	春日部	36	1	36	1	0	4	1	82.75	32	21
	杉戸	41	1	42	1	1	4	2	74.41	57	57
	春日部西	30	1	30	1	0	5	1	85.85	26	48
	庄和	18	1	19	1	1	2	2	71.58	61	71
	春日部南	26	2	32	2	6	6	6	82.50	33	30
	春日部イブニング	23	1	27	1	4	5	5	74.05	58	63
	第6グループ計	174	7	186	7	12	26	17	78.52		

グループ	クラブ名	2016年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	増減	目標純増	通算入会	当月 出席率	当月 順位	通算出席率順位
第七グループ	幸手	46	1	47	1	1	5	3	72.34	60	35
	蓮田	54	2	56	3	2	5	3	90.57	14	53
	久喜	50	4	48	4	-2	6	0	64.03	70	50
	栗橋	10	0	8	0	-2	2	0	67.72	69	55
	幸手中央	30	2	26	1	-4	4	0	90.39	17	47
	第7グループ計	190	9	185	9	-5	22	6	77.01		
第八グループ	越谷	95	5	93	5	-2	5	3	81.40	39	28
	越谷南	50	5	52	6	2	6	6	89.60	19	14
	越谷北	50	3	52	3	2	5	3	87.23	22	19
	越谷東	48	4	47	4	-1	5	1	89.16	20	29
	越谷中	18	1	19	1	1	3	3	70.50	65	56
	第8グループ計	261	18	263	19	2	24	16	83.58		
第九グループ	八潮	35	3	34	3	-1	3	0	91.49	10	7
	八潮イブニング	25	0	30	0	5	4	5	88.30	21	32
	草加中央	18	1	15	1	-3	10	0	81.25	40	46
	八潮みらい	24	0	24	0	0	4	0	61.66	72	61
	草加松原	34	2	37	2	3	16	4	82.05	35	67
	第9グループ計	136	6	140	6	4	37	9	80.95		
第十グループ	吉川	34	2	22	0	-12	2	1	75.35	54	39
	三郷	35	4	35	4	0	4	2	80.23	46	36
	三郷中央	19	1	19	1	0	2	0	71.27	62	42
	三郷ウェンズデー	22	3	24	3	2	4	3	81.52	38	45
	松伏	15	3	15	3	0	4	0	98.33	2	9
	第10グループ計	125	13	115	11	-10	16	6	81.34		
第十一グループ	川口	79	11	85	11	6	5	11	90.47	15	49
	鳩ヶ谷	21	1	21	2	0	3	1	75.00	55	17
	川口東	22	0	23	0	1	4	1	81.55	37	33
	川口/鳩ヶ谷武南	25	2	25	2	0	3	0	94.44	6	26
	川口モーニング	24	2	24	2	0	4	0	90.63	13	16
	川口南	36	5	38	6	2	3	3	60.98	73	73
	川口シティ鳩ヶ谷	16	1	16	1	0	4	0	80.83	42	15
	埼玉ゆず	10	10	10	10	0	3	0	70.00	66	52
	第11グループ計	233	32	242	34	9	29	16	80.49		
第十二グループ	戸田	54	5	56	5	2	3	2	74.51	56	59
	蕨	22	2	21	2	-1	3	0	80.00	47	27
	川口西	27	4	28	6	1	3	4	76.25	53	64
	戸田西	23	2	22	1	-1	2	0	91.00	11	31
	川口北	20	0	20	0	0	2	0	62.70	71	70
	川口北東	16	2	15	2	-1	3	1	78.06	50	62
	川口中央	10	1	10	1	0	2	0	100.00	1	1
	川口むさし野	14	2	15	2	1	2	1	95.00	5	6
	戸田イブニング	19	1	19	1	0	2	0	70.73	64	66
	第12グループ計	205	19	206	20	1	22	8	80.92		
	地区合計	2554	185	2612	192	58	301	166	81.71		